

能と狂言

# 人間国宝の競演

友枝昭世と山本東次郎の至芸



狂言「通円」  
山本東次郎  
撮影：神田佳明

能「巴」  
友枝昭世  
撮影：あびこ写真店

解説

狂言

能

通円「つうえん」

山本東次郎

馬場あき子

友枝 昭世

アフタートーク

馬場あき子、友枝昭世、山本東次郎

開催日

平成30年

5月3日(木・祝)

14時開演(13時30分開場)

会場

川崎市

麻生市民館ホール

入場料

SS席 6,000円

S席 5,000円

(全席指定)

チケットご購入のご案内 2月1日(木)より発売スタート! 良いお席はお早めに

## 1 インターネット

アルテリッカ

検索

アルテリッカしんゆりチケットセンター(24時間対応)  
<http://www.artericca-shinyuri.com/>

## 2 電話予約

アルテリッカしんゆりチケットセンター  
(10:00~17:00/土・日・祝を除く、ただし4/1からは毎日営業)

TEL. 044-955-3100

## 3 窓口販売(A、B、C、D、E/地図参照)

- A** 川崎市アートセンター  
(9:00~19:30/毎月第2月曜除く、ただし祝日の場合は翌日)
- B** 新百合21ホール (10:00~17:00)
- C** マイタウンチケットセンター  
(新百合ヶ丘マプレ「写真工房 彩」内 9:00~21:00/不定休)
- D** 昭和音楽大学チケットセンター  
(昭和音楽大学南校舎内 10:00~18:00/12:00~13:00および土・日・祝を除く)
- E** 昭和音楽大学北校舎  
(10:00~18:00/12:00~13:00および土・日・祝を除く)  
★お近くのセブンイレブンでもお買い求めいただけます。

主催:公益財団法人川崎市文化財団 共催:川崎・しんゆり芸術祭2018実行委員会 川崎市 川崎市教育委員会

後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会 NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり

お問い合わせ ▶川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2018実行委員会事務局

TEL.044-952-5024 FAX.044-955-3212





# 能と狂言

# 人間国宝の競演

—友枝昭世と山本東次郎の至芸—

## 狂言 通円【つうえん】

旅の僧が宇治橋のたもとに着き、見れば茶屋に茶が手向けられています。所の者に訳を尋ねると、昔、通円という茶屋の亭主がおり、大勢の客に茶を点ててついには点て死にしたと言います。それを聞いた僧がねんごろに申しているところに通円の亡霊が現れます。

そして宇治橋の供養の折、参詣の人々が300人も押し寄せたので、奮闘し茶を点てすぎついには命を落としたと仕方話をします。宇治橋での戦いで平家軍300人と戦ったという能「頼政」のバロディとなっています。

シテ(通円).....	山本東次郎	大鼓.....	大倉慶乃助
アド(僧).....	山本 則秀	地謡.....	山本 則俊
アド(所の者).....	若松 隆		山本泰太郎
笛.....	栗林 祐輔		山本 則重
小鼓.....	森澤 勇司	後見.....	山本修三郎

## 能 巴【ともえ】

木曾の僧(ワキ)が都へ向かう途中、琵琶湖畔の粟津の原で一人の女(前シテ)と出会います。女は松の木陰の社に参り涙を流しているの、不思議に思った僧は理由を尋ねます。女は神社の前で涙を流すことは不思議ではないと言い、ここは僧と故郷を同じくする木曾義仲が祀られているところであるから、その霊を慰めてくれるように頼むと、夕暮の草の陰へ消えていきます。(中入り)僧は参詣に来た里の男(アイ)に義仲の最期のことや巴御前とのことを聞かされます。

夜になり僧が亡き人の跡を申していると、先程の女が武者姿で再び現れ、自分は巴の霊(後シテ)であることを知らせ、主君の義仲と共に最期を遂げられなかったことが心残りであると訴えます。そして巴は合戦の様と義仲の最期を語り、自害した義仲の形見をもって涙ながらに木曾へ逃れたのだと述べ回向を願って消え失せます。

シテ(里女・巴).....	友枝 昭世	地謡.....	香川 靖嗣
ワキ(旅僧).....	工藤 和哉		長島 茂
ワキツレ(従僧).....	則久 英志		狩野 了一
ワキツレ(従僧).....	野口 能弘		友枝 雄人
アイ(所の者).....	山本凜太郎		金子敬一郎
笛.....	栗林 祐輔		内田 成信
小鼓.....	森澤 勇司		大島 輝久
大鼓.....	大倉慶乃助		友枝 真也
後見.....	中村 邦生		
	佐藤 寛泰		

## プロフィール

友枝 昭世(ともえだ あきよ) ●能楽師 喜多流 シテ方



- 1940年3月24日生まれ。肥後熊本、加藤家・細川家のお抱え能役者の本座・友枝家に友枝喜久夫の長男として、東京に生まれる
- 1946年/能楽シテ方喜多流十五世宗家喜多実氏に師事
- 1978年/第28回芸術選奨文部大臣新人賞受賞
- 1994年/第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1995年/第45回芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1996年/「友枝会」(江戸幕府崩壊後、曾祖父友枝三郎のもと熊本にて発足)を父喜久夫没後継承
- 2000年/春の紫綬褒章受賞
- 2003年/日本芸術院賞受賞
- 2004年/伝統文化ポーラ賞大賞受賞
- 2008年/重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2011年/日本芸術院会員に就任

山本東次郎(やまもと とうじろう) ●能楽師 大蔵流 狂言方



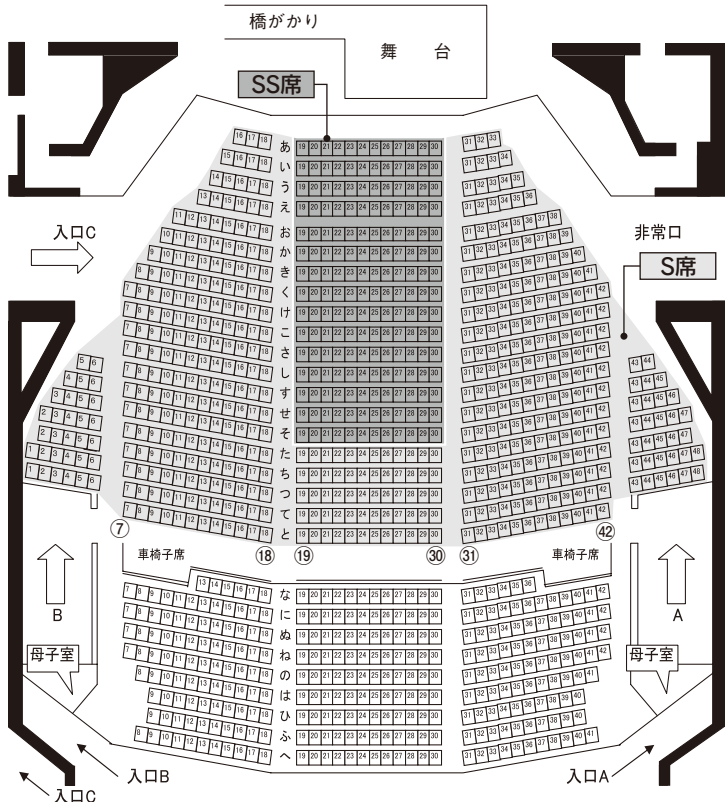
- 1937年5月5日生まれ。山本東次郎家四世。三世東次郎の長男。山本会を主宰。
- 1964年/芸術祭奨励賞受賞
- 1992年/芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1994年/第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1998年/紫綬褒章受賞
- 2001年/エフロンモービル音楽賞(邦楽部門)受賞
- 2007年/日本芸術院賞受賞
- 2012年/重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2017年/日本芸術院会員に就任
- 一般財団法人杉並能楽堂理事長
- 著書  
「狂言のすすめ」、「狂言のことだま」、「山本東次郎家 狂言の面」(玉川大学出版部)、「狂言 山本東次郎」(共著)(新人物往来社)、「中高生のための狂言入門」(共著)(平凡社)

馬場 あき子(ばば あきこ) ●歌人



日本を代表する歌人、文芸評論家。短歌結社「かりん」主宰。古典や能に対する造詣も深く、喜多実に入門。新作能の制作も行い、「影媛」(国立能楽堂委嘱)は大好評を博した。日本芸術院会員、朝日歌壇選者ほか。「馬場あき子全集」全13巻ほか歌集や著書多数。川崎市在住。

## 川崎市麻生市民館 ホール座席表



詳しくは [川崎市麻生市民館座席表](#) [検索](#)